



芝小だより

2月号

令和5年1月31日

発行者 港区立芝小学校

〒105-0014

港区芝2-21-3

TEL:03-3456-3072

FAX:03-3456-3071

「インターネットや情報機器との適切な付き合い方」

校長 川原 哲郎

1月20日・21日の学校公開には、多くの皆様に御来校いただきありがとうございました。参観に関しては、まだ制限をさせていただきましたが、御協力ありがとうございました。子供たちが元気に活動している様子、成長した姿を見ていただけたことと思います。

さて、2学期に児童及び保護者に行った「ネット利用の実態調査」の調査結果が出ました。本校の特徴として、三つの点が挙げられています。

- ①オンラインゲームの利用率が高い(特に6年生)。児童の利用実態と保護者の認識の差が大きい。
- ②自宅学習のためにインターネットを利用する時間が長い傾向がある(特に1, 2年生)。(インターネットの利用時間が予定より長くなることがあると回答した児童が、30~40%いる。)
- ③肖像権に関する設問の正答率が低い傾向がある。(肖像権の知識・認識不足が懸念される。)

その他にも、高学年になるほどネットゲームを行う時間が長くなったり、一日の使用時間が長くなったりしている状況があります。YouTubeの視聴時間も長くなっています。

一人一台タブレットを使うようになってもうすぐ2年になります。子供たちがタブレットの使い方を習得するスピードは目を見張るものがあります。今後、子供たちが生きていく中で情報機器、ネットの活用は欠かせないものになってくるでしょう。そうした環境の中で、いかに正しく、効果的に使うようになるか、プログラミング的思考の育成に役立てるかなど、基礎的な部分を身に付けるのが小学校の段階だと思えます。この中で、家庭と学校が協力し、正しい使い方や情報モラルが身に付くよう子供たちを育てていくことが重要になると考えています。

社会に目を向けるとネット依存症に苦しむ人もいます。最近の脳科学の研究から、インターネットの利用時間が増えることで子供の脳の発達に制御がかかるという結果も明らかになってきているようです。この研究によると、インターネットを利用する頻度が高い子供ほど脳の増加量が少ないということです。また、スマホで単語などを調べるよりも、紙の辞書で調べた方が脳活動が高いという研究結果もあるそうです。

インターネットや情報機器の使用はとても便利です。しかし、その便利さの裏には負の部分もあります。そのことをしっかりと捉え、適切な付き合い方を身に付けていく必要があります。芝小では、体験的な学習、人との触れ合いの中で学ぶことなどを大切にして教育活動を行っています。今後もタブレットの有効活用を考えつつ、直接物や人と触れ合いながら学ぶ活動も大切にしていきます。

オンライン授業について

コロナに罹患して自宅待機になった場合や濃厚接触者になった場合、コロナ不安で出席停止となった場合は、オンラインで授業を受けることができるようにしています。(腹痛や風邪など体調不良で欠席の場合は、オンラインでの授業は行っていません。しっかり療養してください。)出席停止でオンライン授業を希望する場合は、担任まで連絡してください。ただし、オンラインで授業できる教科、できない教科がありますので御了承ください。

2月生活目標「正しい言葉遣いをしよう」

「言葉の大切さ」

他者とのコミュニケーションをとるための手段の一つとして、「言葉」があります。「言葉」を使うことで、自分の気持ちを相手に伝えたり、相手の気持ちを理解したりすることができ、とても便利です。また、「言葉」には他者を笑顔にさせたり元気づけたりする力もあります。しかし、使い方によっては、人を傷付ける道具にもなってしまいます。

言葉遣いは、その言葉を発する人柄を表します。子供たち自身が、言葉の意味や大切さを理解し、正しい使い方や選び方ができるよう、引き続き指導をしてまいります。

(生活指導部 長山 桃加)

学びの部屋

～4年生 10歳を祝う会に向けて～

4年生は2月4日(土)に行われる10歳を祝う会に向けて練習を行っています。それぞれが将来に向けてどんな大人になりたいか、そしてその目標を達成するために今の自分がどんなことをしたらよいのかなどを考えています。その中で、今の自分があるのはたくさんの周りの方々を支えられてきたことなどを実感しているようです。

子供たちが、家族や今まで関わってくれた周りの方々への感謝の気持ちを十分表すことができるよう、本番に向けて指導をしてまいります。

(4年生担任 荒井 かりん)